
「小児喘息重症度分布と治療の経年推移に関する多機関調査(2024 年度)
(日本小児アレルギー学会疫学委員会主導の多機関共同調査研究)」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学病院 IRB 委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2024 年 10 月 21 日(月) ～ 10 月 27 日(日)の 1 週間、もしくは、10 月 21 日(月) ～ 11 月 17 日(日)の間の 1 週間に、岡山大学病院小児科を外来受診もしくは入院した気管支喘息の患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

小児の気管支喘息患者さんの実態の変遷を知ることに加え、コロナウイルス感染症 2019(COVID-19)の既往が気管支喘息の発症・増悪に与える影響を調査します。

3. 研究期間

病院長の許可後 ～ 2025 年 10 月 31 日
※ 研究開始は 2024 年 11 月 18 日以降

4. 利用または提供の開始予定日

2024 年 11 月 22 日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

試料:

使用いたしません。

情報:

年齢、性別、外来・入院別、喘息の重症度、喘息の治療ステップと治療内容、受診時を含めた過去の重症急性呼吸器症候群コロナウイルス 2 型(SARS-CoV-2)の感染の有無と重症度

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院小児科において、研究責任者であ

る板澤寿子が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

気管支喘息の患者さんの診療記録を用います。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

研究代表者:

埼玉医科大学病院 小児科 板澤寿子

研究責任者:

滋賀県立小児保健医療センター 小児科 楠 隆

昭和大学病院 小児科 今井孝成

国立病院機構三重病院 小児科 長尾みづほ

大阪府済生会中津病院 小児科 免疫・アレルギーセンター 平口雪子

あいち小児保健医療総合センター 免疫・アレルギーセンター アレルギー科 松井照明

獨協医科大学病院 小児科 宮本 学

国際医療福祉大学成田病院 小児科 山出史也

国立成育医療研究センター アレルギーセンター 山本貴和子

東京都立小児総合医療センター アレルギー科 吉田幸一

既存情報の提供のみを行う機関:

上記共同研究機関を除く日本小児アレルギー学会代議員*が所属(非常勤含む)する施設のうち、本調査に協力することに同意していただけた施設。

* <https://www.jspaci.jp/news/member/20230619-4160/>

試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名:岡山大学病院 前田 嘉信

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

5. 試料・情報の提供方法等について

研究のために取得した情報は研究特有の ID を付与し、日本小児アレルギー学会疫学委員会事務局にて集積した後、埼玉医科大学病院小児科に送付され、解析されます。解析されたデータは、同施設内の施錠可能な保管庫で研究終了後5年間保管され、その後完全に廃棄されます。ただし、本研究は長期にわたる経年変化を評価しているため、日本小児アレルギー学会疫学委員会により本研究から得られたデータが将来の研究のために必要であると判断された場合は保管期間が延長される可能性があります。

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

問い合わせ窓口：岡山大学病院 小児科 津下 充
岡山県岡山市北区鹿田町 2-5-1
電話 049-235-7249

研究事務局：日本小児アレルギー学会 事務局
東京都台東区上野 1-13-3 MY ビル4階
電話 03-6806-0203 FAX 03-6806-0204

- 研究課題名：小児喘息重症度分布と治療の経年推移に関する多機関調査
(日本小児アレルギー学会疫学委員会主導の多機関共同調査研究)
- 研究代表者：埼玉医科大学病院 小児科 板澤寿子

※ 研究の資金源(調査用紙の印刷、郵送、データ入力作業に関する費用)は、日本小児アレルギー学会より支出されます。